

昌子の広場 第226報 小林昌子議会報告

和泉市無所属市民派議員

小林昌子

和泉市緑ヶ丘 2-13-10

自宅 Tel 0725-54-2626

Fax 020-4669-6920

事務所 Tel(Fax)0725-53-4451

Email masakokob@yahoo.co.jp

http://masako-hiroba.info/

ホームページもご覧下さい

再生紙を使用しています



| 目次 | |
|---------------|------|
| ・泉北水道の廃止 | P1,2 |
| ・令和元年決算出る | P3 |
| ・コロナによる収支への影響 | P4 |

泉北水道の廃止 令和元年決算出る コロナによる収支への影響



和泉市は泉北水道企業団の廃止を前提とした協議を構成市と行うことを認める議案を提案しました。廃止の理由は現設備の更新が必要で、それには巨額の費用が必要で、泉北水道を廃止し府営水道から受水する方法が現実的であるという事です。議案は残念ですが可決されました。構成市の泉大津市、高石市も同様の議案が可決されました。

以下これまでの経緯と協議の内容を紹介します。

□泉北水道からの受水量

和泉市の上水道の受水量及び受水単価は下記の通りです。約8%泉北水道から受水しています。これを府営水道に切り替えることとなります。

| | | H27年度 | H28年度 | H29年度 | |
|-----------------------|------|------------|------------|------------|-------------------|
| 受水量 m ³ | 大阪広域 | 14,224,970 | 14,277,728 | 14,414,840 | |
| | 泉北水道 | 1,869,580 | 1,886,590 | 1,753,840 | |
| | 光明池 | 3,458,986 | 3,311,018 | 3,363,411 | |
| | 計 | 19,553,536 | 19,475,336 | 19,532,091 | m ³ 単価 |
| 受水費 千円 | 大阪広域 | 1,152,222 | 1,156,495 | 1,167,602 | 75円 |
| | 泉北水道 | 115,495 | 116,545 | 108,345 | 57.2円 |
| | 光明池 | 56,035 | 53,638 | 54,487 | 15円(*) |
| | 計 | 1,323,753 | 1,326,680 | 1,330,434 | (*)処理前 |

尚大阪企業団の単価はH30年度から72円に変更されています。光明池原水は水処理前の単価です。

□泉北水道に関する市の見解

- 信太山浄水場存廃に関する市の見解

信太山浄水場は、水不足の解消を目的とする暫定水源として昭和37年の送水開始以来、約60年間関係3市に安価な用水を供給してきましたが、大阪府(現大阪広域水道企業団)の拡張整備により水不足が解消されたことから、信太山浄水場の本来の役割は終わっている。

このことにより、信太山浄水場については用水供給事業の最終年度である令和2年度末をもって終焉する方向で検討を進める。

●施設の現況

用水供給事業として認められている令和2年度末までの稼働をめぐり、これまで補修等を重ねて来ているが、配水池及びろ過池の漏水やポンプの老朽化などが著しく、施設の維持については耐用限界を迎えている。

仮に令和2年度以降も自己水として浄水場を存続させる場合、急速ろ過方式(高度処理)での全面更新が条件となる。

●供給単価

現在供給単価は泉北水道が57.2円/m³、大阪広域水道企業団が72.0円/m³と泉北水道が安価に供給されているが、施設の全面更新に約70億円が必要で、それに伴い泉北水道の供給単価は100.0円/m³と大きく跳ね上がることになり、用水単価面でも問題となる。

●災害時における自己水保有の必要性

今後の災害対策として、自己水を保有することはリスク管理上の価値は高いという意見もあるが、浄水場の全面更新により大阪広域水道企業団からの供給単価との比較では大きな差が生じることとなり、安全保障上自己水保有のために約70億円を投資するという選択肢はない。

一方で、大阪広域水道企業団では災害対策として大和川を横断する耐震性水管橋を3ヶ所設置しており、加えて、さらに耐震強度の高い地中バイパス送水管の整備が平成31(2019)年度中に完了することから、同企業団としてのリスク管理は順次整えられており、送水面においても泉北水道企業団より高い耐震安全性が確保されている。

●私の意見

泉北水道の施設の現況を考えると何らかの対応が必要と考えますが、果たして急速濾過方式の採用が避けられないのか(更新費用の低減の可能性)、供給単価のupを理由に自己水を放棄することが正しい判断なのか、大規模災害時に果たして応援給水が期待できるのか等慎重な検討が必要です。

ちなみに日本水大賞・国際貢献賞を受賞された信州大学名誉教授の中本先生は、泉北水道の水処理を急速濾過にしなくてもいくつかの対応をとれば、ほとんど維持管理に手がかからない施設にすることができると明言されています。命の水をそんなに簡単に結論づけすることは許されません。私は信太山浄水場の廃止反対の立場です。

微生物浄化の水道 残して



信太山浄水場を視察し、市議らに濾過池の状況を確認する中本信忠・信州大名誉教授と和泉市長

信太山浄水場 廃止方針
高石、泉大津、和泉の3市に水道水を供給してきた泉北水道企業団の信太山浄水場めぐり、3市の超党派市議が存続を訴えている。市議らは「微生物を使った浄水方式で環境に優しく、災害時の水源としても有用」と主張。一方、企業団は「老朽化が深刻」として2021年春に廃止する方針だ。

水道の浄化方式
水道水の浄化には緩速濾過、急速濾過、膜濾過、消毒のみの四つの方法がある。濾過池の砂層にいる微生物の作用でゆっくり浄化する緩速濾過が戦前は一般的だったが、戦後は薬品を注入して濁りを速く取り除く急速濾過が普及し、現在は全国の計画浄水量の8割を占め、緩速濾過は4%弱。府内では信太山浄水場以外に、高槻、河内長野、貝塚の3市と能勢町に計6カ所あるが、規模は小さい。

地元市議ら「改修を」
今年7月、3市の市議約10人が、中本信忠・信州大名誉教授とともに和泉市の信太山浄水場を視察した。中本先生は、微生物の働きで水を浄化する「緩速濾過」研究の第一人者。1962年に送水を始めた信太山浄水場も、府内では稀な緩速濾過方式だ。「こんな良い浄水場をなくす手はない。砂の層を厚くし、生物の働きをよくすれば水質をもっと良くできる」と中本さん。ただ、泉北水道企業団は「浄水場を廃止する方針だ。もともと暫定的な施設。未来水動使う前提はない」と相反者は言う。

□泉北水道廃止を前提とした議案が提出される

泉北水道企業団の解散及び財産処分並びに事務の承継について、関係市と協議を行う議案が提出され可決されました。

協議の主要な内容は以下の通りです。

●泉北企業団は令和3年3月31日に解散

●解散に伴う財産処分

土地の処分 泉大津市38.4%、和泉市31.6%、高石市30%を引き継ぐ
その他建物等 和泉市が引継ぐ

●解散に伴う事務は和泉市が継承する
その他確認事項

市が引継いだ建物等は撤去する。撤去費用は約4.6億円で泉水の現預金から充当し、不足の場合は3市が負担する。職員8名は関係市が引き受ける。

□都市環境委員会の質疑

私は都市環境委員会でこの議案に関し以下質問しました。

【質問】引継いだ土地の活用方法は

【答弁】引継いだ土地はグラウンド、貯水池の一部、その他点在する土地で、新たな土地利用は困難

【質問】土地以外の資産は？処理費用の負担は？

【答弁】事務所、浄水場施設等で大半は処分する。処分に要する費用は泉水の現預金から退職給与引当金を差し引いた残金を充当。不足の時は3市で負担

【質問】貯水池があるが解散後は

【答弁】大半は国有地で、原則原状回復して返還が必要だが出来るだけ費用が発生しないよう近畿財務局と協議する。

【質問】解散に伴う事務の継承は和泉市となっているが理由は

【答弁】施設が和泉市にあること、企業長が和泉市長であることから、3市で協議し決定した。

【質問】解体撤去費用4億6,490万円の内容は

【答弁】濾過地や配水池の撤去費用で3億2,780万円、ポンプ室等の撤去費580万円、送水管等の撤去費で1億3,130万円である。

【質問】当該事務がいつ完了するのか

【答弁】国との協議や約6Kmある送水管の撤去を考慮すると3年はかかる。

□反対討論しました

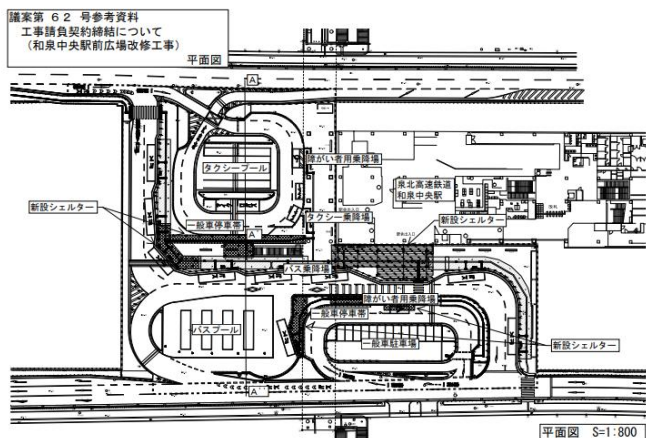
泉北水道企業団は創設以来泉大津市、高石市、和泉市に長期に渡り、かんそく濾過という微生物の力を活用するという優れた方式での水作りにより、安価であると共に水質についても安心できる水を供給して来ました。今回施設の老朽化により、今後の水供給事業は行わないとの前提でこの議案が提出されたと理解しています。

しかし昨年夏に泉北水道企業団を視察された中本信州大学名誉教授は施設見学後「水作りに関しての施設の大きな改修は必要なく、濾過池の砂の層をもっと厚くする必要性はあるが、現状で緩速濾過での水供給は可能である」との見解を示されています。発展途上国での活動が評価され、日本水大賞を昨年受賞された先生の見解は看過すべきではないと考えます。

更に今は「コロナ」の事で関心がそちらに向かっていますが、近年の異常気象が示唆する先に何があるかをきっちり把握し、基礎自治体の責務である「住民の命と財産を守る」ために今からその対策を考える必要があります。その意味からも泉北水道企業団は存続させる意味も、価値もあると私は考えております。よって今回提案された議案84号に反対致します。

和泉中央駅前工事始まる

懸案でした和泉中央駅前広場の改修工事が始まります。



改修のポイントは現在一般車が進入禁止となっているバス停に、自家用車が進入し混雑と危険性が指摘されていましたが、それを今回の改修工事でバスの進入路と自家用車等の一般車の進入路を分ける工事です。上図の下側の部分で、左側がバスの進入路とバス停、右側が一般車の進入路と駐車場です。

●改修工事の概要

工事費 552,456,300円
 工事業者 矢野建設株式会社和泉支店
 工事期間 令和4年3月末完工

●入札概要

制限付き一般競争入札
 予定価格 552,456,300円 (税込み)
 最低制限価格 502,233,000円 (税抜き)
 落札価格 502,233,000円 (税抜き)
 落札率 90.7%

入札状況

花田工業株式会社 502,233,000円
 矢野建設株式会社和泉支店 502,233,000円
 大容建設株式会社 502,233,000円
 3者とも最低制限価格で入札、くじで落札者が矢野建設株式会社和泉支店と決定

令和元年の決算が出ました。

令和元年決算出る

●一般会計決算を月30万円の家計に例えたら

| 歳入 | | | 家計に例えたら | | |
|---------------------|------------|-------|---------|--------|-------|
| 項目 | 金額(千円) | 割合 | 項目 | 金額(千円) | 割合 |
| 市税 | 24,089,652 | 37.8 | 給与収入 | 124.8 | 41.6 |
| 使用料・手数料・分担金・負担金・諸収入 | 2,458,618 | 3.9 | | | |
| 寄付金・財産収入 | 732,435 | 1.1 | その他の収入 | 3.4 | 1.1 |
| 繰入金 | 814,198 | 1.3 | 貯金の取り崩し | 3.8 | 1.3 |
| 繰越金 | 345,021 | 0.5 | 前月繰り越し | 1.6 | 0.5 |
| 地方交付税 | 7,648,345 | 12.0 | 親からの仕送り | 146.0 | 48.7 |
| 地方贈与税・各種交付金・国庫支出金 | 23,401,158 | 36.7 | | | |
| 地方債 | 4,305,600 | 6.7 | 借金 | 20.2 | 6.7 |
| 歳入計 | 63,795,027 | 100.0 | 家計計 | 300.0 | 100.0 |

●令和元年度一般会計決算は

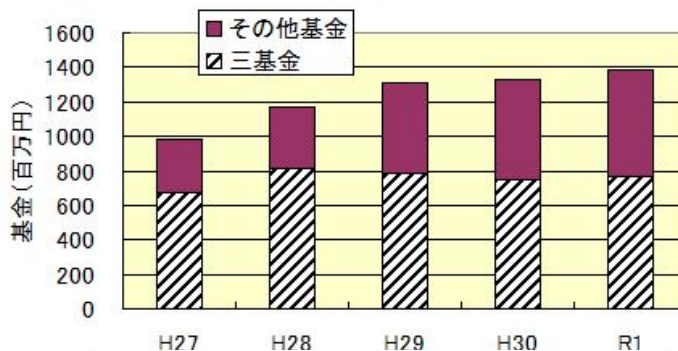
財政規模約638億円で平成25年度に600億円を超えて以来27年度を除いて600億円の台が続いています。累積収支を表す実質収支4千万円と少なく、財政の弾力程度を示す経常収支比率は96.8%と高止まりし、財政の硬直化が続いています。

●30万円/月の家計に例えると

自前の歳入にあたる給与収入は40%強しかなく、国からの仕送りに半分以上を依存する脆弱な構造が依然続いています。

●基金(貯金)の状況

基金(貯金)の状況



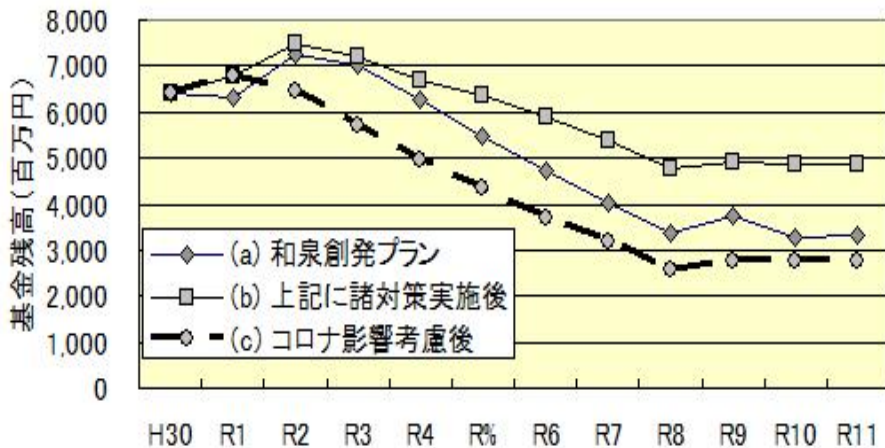
| | | 前年度末 | 今期末 |
|-------|----------|------------|------------|
| 三基金 | 公共施設整備基金 | 3,135,465 | 3,427,085 |
| | 財政調整基金 | 4,125,220 | 4,076,130 |
| | 減債基金 | 212,250 | 212,280 |
| | 小計 | 7,472,935 | 7,715,495 |
| その他基金 | | 5,860,249 | 6,094,269 |
| 合計 | | 13,333,184 | 13,809,764 |

コロナの影響を含む今後の見通しは次頁

コロナの基金への影響（安定した財政運営に危惧）

| 基金残高 | H30 | R1 | R2 | R3 | R4 | R% | R6 | R7 | R8 | R9 | R10 | R11 |
|---------------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| (a) 和泉創発プラン | 6,412 | 6,300 | 7,270 | 7,032 | 6,250 | 5,466 | 4,715 | 4,030 | 3,385 | 3,747 | 3,271 | 3,320 |
| (b) 上記に諸対策実施後 | 6,412 | 6,805 | 7,466 | 7,184 | 6,702 | 6,342 | 5,883 | 5,400 | 4,751 | 4,910 | 4,886 | 4,878 |
| (c) コロナ影響考慮後 | 6,412 | 6,805 | 6,438 | 5,708 | 4,949 | 4,329 | 3,680 | 3,172 | 2,562 | 2,748 | 2,743 | 2,747 |

基金の見直し



(b)基金増の諸対策（増収対策）

- ・未利用地の売却増 約 5 億円
- ・国民健康保険事業の繰出し時期の見直し 約 3 億円
- ・ふるさと元気基金の増 2.5 億円

(c)コロナの影響

- ・市税収入の減 約 14 億円
 - ・感染対策に係る補正 約 7.5 億円
- コロナ感染対策の実施により、安定した財政運営に必要な基金である 30 億円を若干ではあるが下回る状況

市はこれらの収支見直しに関し、以下のように言っています。

令和2年度以降の収支見直しは、新型コロナウイルス感染症の影響により市税収入が減少見込みであることから、和泉創発プランの目標である毎年度末の基金残高約 30 億円をわずかに下回る見込みです。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症に伴う収支への影響がどの程度となるか不透明であることから、現時点ではプランどおり事業を実施しますが、令和2年度の決算状況を踏まえ、基金残高の目標達成が困難となった場合は、既存事業の見直しや新たな財政健全化策を検討することとします。

<小林感想> コロナ感染症の終息が不透明な中で厳しい財政運営が予想されます。私たちの生活にも少なからず影響は避けえないと思います

昌子の日記&予定

- 11/4 大阪自然環境保全協会役員と面談
- 11/6-11/12 令和元年度決算審査委員会
- 11/14 彩生館EM講座
- 11/16 和泉中央駅会報配布、水問題学習会（エル大阪）
- 11/17 和泉府中駅会報配布、都市計画公園の変更説明会
- 11/18 光明池駅会報配布
- 11/19 和泉府中駅会報配布、ソロプチミスト大阪-南稜定例会、子ども食堂
- 11/20 和泉中央駅会報配布
- 11/24 和泉中央駅会報配布、子育てさんあつまれ見学
- 11/25 和泉中央駅会報配布
- 11/26 信太山駅会報配布、本会議
- 11/27 北信太駅会報配布

11/30 和泉中央駅会報配布



《事務所行事》いずれも小林昌子事務所で
連絡先 自宅 TEL 0725-54-2626
 事務所 TEL 0725-53-4451
 （事務所 緑ヶ丘1-3-15）

パソコン講座
 ・第2、第4週の火曜 10時～12時、
 同じく 木曜 14時～16時
市政相談会（事前にご連絡下さい）
 ・第2、4水曜日 20:00～21:30